

キャラクター名
揺草 タ陽(ゆりくさ ゆうひ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ノイマン	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション	パロール	年齢	16	性別	男
覚醒	忘却	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	複数の兄弟姉妹がいる	経験	トラウマ	邂逅	※Dロイス置換

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	1	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
砂上の楼閣	白兵	2r-4	5	8		魔眼槍
硝子の摩天楼	白兵	2r-1	3	5		《剣の王城》日本刀
ダイヤの涙						(ギガンティックモード) + (コンセントレイト:モルフェウス)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
制服&カジュアル	
自転車	
思い出の一品	
砂浜の砂が入った小瓶	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
業師(スペシャリスト)	P	N		
家族	P 感服	N 疎外感		
己の力	P 信頼	N 猜疑心		
恩人	P 友情	N 嫉妬		
友人	P 同情	N 劣等感		
衝撃的な〇〇	P 有為	N 悔悟		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	判定のC値-Lv							
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻撃の対象を範囲(選択)に変更、武器破壊							
剣の王城	4	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果:	シーンの間、モルフェウスのエフェクトを使った攻撃の攻撃力+Lv×2。日本刀をLv+1個作成し同時に二本まで装備できる。シナリオ一回							
魔弾の射手	2	4	メジャー	視界	単体	対決	-	
効果:	白兵武器×2を投擲して攻撃、命中と攻撃力合算、武器破壊、1シナリオLv回							
ストライクモード	2	6	メジャー	-	単体	対決	80%	
効果:	攻撃力+LvD、武器破壊							
フェイタルヒット	3	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	使用者がダメージロールを行う直前に使用する。使用者が現在行っている攻撃のダメージを+[LV]D点する。当エフェクトは1ラウンドに1回まで使用できる							
紡ぎの魔眼	2	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	判定のダイス+Lv個							
魔眼槍	1	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	ダメージを与えると硬直を与える槍を生成、攻撃力Lv+7、命中-4、G値5							
魔王の玉座	★		常時	至近	自身	自動		
効果:	重力を操作し、浮遊できる							
軽快なる積荷	★		常時	至近	自身	自動		
効果:	物品を浮かせて移動できる							
効果:								
効果:								
効果:								

小さな島の小さなコミュニティ。変わらない毎日と、へばりつくような倦怠感。それが俺の全てだった。——あの日までは。

死にかけた。暗い夜道を歩いていて、海に落ちて、そのまま溺れ死にそうになった。こわかった。当たり前にあるはずのものが段々自分の身体から抜け落ちていくようで、どうしようもできなくて。ああ、これが終わりなんだ。我ながらあっけないものだな、なんて。そうやって諦めていた俺の視界に、映り込んだソレは——。

綺麗だった。この世のものとは思えないような、人魚の姿。網膜に焼き付いたその姿を、きっと一生忘れないうらら。

気が付けば、海の中ではなく海岸に倒れていた……らしい。泣きそうな顔の姉にそう言われた。——助けられたのだ、きっと彼女に。

それ以来、俺の心は大きく変わった。へばりつくような倦怠感はどこかに消えて、少しだけ輝くような未来が広がっている、そんな予感。心だけじゃない。現実離れた力。それがその日以来俺の身体に宿った。宿った、と言っているのかは知らないけれど。とにかく、俺の全ては変わったんだ。